
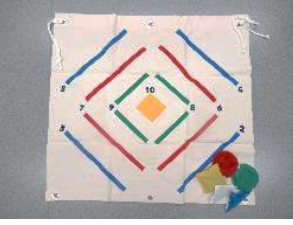







自立活動

名前	写真	概要
運動用訓練ボール		<p>【ねらい】 からだのバランス・コントロール能力を育てる</p> <p>【使い方】 ボールに座ったり、ボールを弾ませたりする。丸いボールより乗るのに安定している。</p>
ウォーキングディスク		<p>【ねらい】 からだのバランス・コントロール能力を育てる</p> <p>【使い方】 ディスクを床に置いてその上を歩いたり、マークの通りに手足を置いたりする。位置を示すマークとしても活用できる。</p>
型はめ いろいろな形 三角形のみ		<p>【ねらい】 形の弁別</p> <p>【使い方】 それぞれの形に合う穴にはめていく。</p>
フリータワー		<p>【ねらい】 注意力・集中力を養う</p> <p>【使い方】 積み木として遊んだり、積み上げたタワーから木片を1個ずつ交互に抜いていくゲームとして遊んだりできる。</p>
ドミノゲーム500		<p>【ねらい】 注意力・集中力、手指の巧緻性を養う</p> <p>【使い方】 ドミノが倒れながら動きを表現してくれるので、子どもの視覚に対する興味が強まり、さまざまな形を作る創造性も養われます。並べるための指先運動、追視のための刺激、さらに子どもの興味をひき起こさせるための教具です。</p>

<p>スクーターボード</p>		<p>【ねらい】 体全体を使った運動</p> <p>【使い方】 遊ぶ柔軟性！子供たちがスクーターボードに乗り、競争や鬼ごっこなど自由奔放に動き回ること、自然と体力づくりを促進する器具です。片足を乗せて開閉を繰り返す内転筋エクササイズや、リハビリ、柔軟性のトレーニングにも効果的です。</p>
<p>バランスマスター</p>		<p>【ねらい】 からだのバランス・コントロール能力を育てる</p> <p>【使い方】 バランスマスターはトレーニングとリハビリテーション向けに開発されたバランス器具です。足幅や立つ方向を帰る事により難易度が変化します。特に内転筋群と股関節周囲の筋力強化、体幹バランスの向上は効果絶大です。各種、様々な運動競技のトレーニングとして使うことができ、バランスマスターでトレーニング後に平面でトレーニングをする事により、高い安定性が体感できます。</p>
<p>工具模型セット</p>		<p>【ねらい】 作業動作を育てる</p> <p>【使い方】 見本のカードを見ながら、電池を入れたドリルやレンチなどを使い、5色のボルトをボードにはめていきます。ADL訓練に効果があります。ADLは、人間が独立して生活する為に必要で、毎日繰り返し行う身体動作の事をいいます。指先の細かい動作を高める作業を行うことによって、協調能力が向上し、様々な日常生活動作のできる動作が増えていきます。</p>
<p>ムーブメントカラー ロープ 長・短各4色</p>		<p>【ねらい】 からだを動かす</p> <p>【使い方】 フローアにロープを置き、その上をゆっくり歩きます。サーカスの綱渡りです。また、色ロープでフローアに好きな形(花、家)を作ります。波を作ることで手の運動になります。</p>

<p>プレーバンド</p>		<p>【ねらい】 からだを動かす</p> <p>【使い方】 両サイドに手首(足首)を入れる程度の輪がついている柔らかく伸び縮みする幅広(25mm)のバンドです。これを友達と向かい合って手首(足首)にはめます。手足を動かすと自由に伸びて色々な広がり空間が作れます。ストレッチに好適です。何本かつなげて皆で形を作ります。</p>
<p>ビーンズバッグセット</p>		<p>【ねらい】 からだを動かす</p> <p>【使い方】 投げたり、受けたり、運んだりする自由な活動が子供を想像の世界へ誘います。また、このバッグは、的(スコアーマット)にピタッとつき、投げる、取る喜びを駆り立てます。マットはハットfrisビーの的としても使え、得点ゲームもできます。</p>
<p>連続絵カード A・B・C・D・E</p>		<p>【ねらい】 人とのかかわり方のスキルの習得</p> <p>【使い方】 「連続絵カード」は、A・B・C・D・Eの5種類の内容に分けて構成しています。一人ひとりの状況像に合わせ、抜粋して使用できます。A・B・C・Dともに3枚1組で15問、Eは2枚1組で22問あります。</p> <p>A: 場面の認知と予測と対処 B: 時間的・空間的な文脈の中での場面や相手の気持ちの認知 C: 社会的な常識と許される範囲の行動の認知 D: 場面の把握と分析と対処 E: OK 場面とNG 場面の対比</p>
<p>状況の認知絵カード 1・2・3・4</p>		<p>【ねらい】 人とのかかわり方のスキルの習得</p> <p>【使い方】 その場の状況を、自分の持っている他の情報と関連づけて読みとることを意図した絵カードです。様々な刺激、情報の中から、重要な意味のあることを選び出し、整理し、それぞれの場面に応じて、自分のとるべき行動を選択できる力を育てます。</p>

<p>表情カード</p>		<p>【ねらい】 コミュニケーションスキルの向上</p> <p>【使い方】 5種類の表情が記載された、表情ポスターのカード版です。おもて面には表情のみ、裏面には表情と、その表情があらわす気持ちの目安が記載されています。カードの1枚ずつに異なった表情が描かれており、また、カード形式でサイズも小さく(9cm×12cm)、個別での対応に適しています。多くの表情の中から一つを選ぶのが難しい場合には、感情のカテゴリー別に数枚を選び、2択、3択で今の気持ちを選んでもらうこともできます。</p> <p>監修:早稲田大学教育学部教授 本多 恵子先生</p>
<p>SSTボードゲーム なかよしチャレンジ</p>		<p>【ねらい】 ソーシャルスキルトレーニング</p> <p>【使い方】 カラフルなボード盤を使ってソーシャルスキルを学びます。学校への行き帰りをテーマにしており、サイコロを振ってマスを進み、イベントをクリアしていく形式はすごろくそのもの。イベントの多くは質問カードに答えることで、質問内容は「学校で起こる問題」ですので、子ども達は遊びの中でソーシャルスキルトレーニングを進めることができます。 「なかよしチャレンジ」は、質問カードの答えのほとんどが3択になっています。そのため、子どもから何らかの回答を導き出すことができるのが最大の特徴です。また、質問カードは難易度別に分かれていますので、子どもの発達段階に合わせてカードをチョイスしてください。</p>
<p>SSTボードゲーム フレンドシップアドベンチャー</p>		<p>【ねらい】 ソーシャルスキルトレーニング</p> <p>【使い方】 ボード盤には5つの島が描かれています。それぞれの島にはソーシャルスキルのテーマが設定されています。 島を1周すると宝物がもらえるようになっており、子ども達は質問カードに答えながら島巡りをして宝物を集めます。「なかよしチャレンジ」と異なり、こちらは自分の気持ちや意見を述べる形になっています。 単なるノウハウではなく、自分の意見、他者の意見をグループになって共有することで、ソーシャルスキルトレーニングを進めていきます。</p>

光る声のものさし
「ボイスルーラー」
通常バージョン・
笑顔バージョン



【ねらい】

声の大きさを知る

【使い方】

自分がどのくらいの大きさの声で話しているかを、5個のLEDランプの点灯数によって視覚的に理解することができます。聞き取りにくい小さい声は青のみ、適切な大きさの声は緑、大きすぎて迷惑になるような声は赤のランプが点灯します。

大きすぎる声は通常バージョンでは耳をふさいでいる絵が表示されますが、笑顔バージョンの場合は発表などで元気な声が出ていることを肯定的に評価する笑顔の絵になります。